

北海盆唄（北海道）

蝦夷地への日本人の移住は鎌倉、室町時代から次第に増加していた。明治2年7月開拓使設置、同8月15日「北海道」と改称し、移住を奨励したが、開墾が極めて困難のため開拓移民は増えなかった。その後政府の諸政策により開墾民が入植するようになった。

これら先人達が長い苦難の間に春祭りで豊年を祈り、盆には遠い故郷を偲びながら祖霊を祀って、それぞれ披露したお国自慢の唄や踊りを道産子達がミックスして新鮮なものに作り直した。その一つが「北海盆唄」で、昭和27年のレコード化で全国に大流行した。

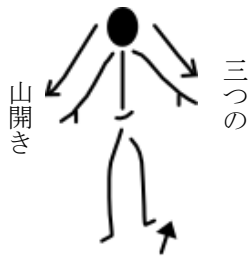
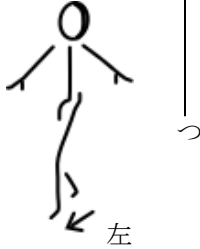
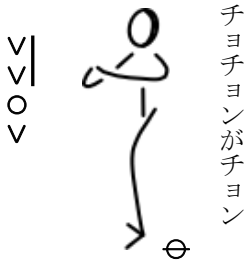


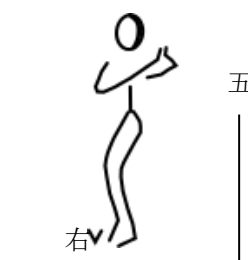

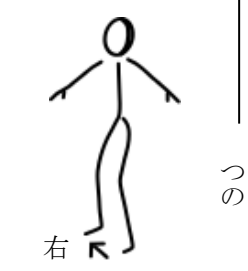

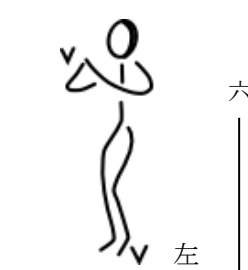
昭和29年「第1回盆踊り」として、以後名称を替えつつ現在の「さっぽろ夏まつり」の行事として8月13日より20日まで、大通公園で北海盆踊りが踊られている。最終日は仮装コンクールとしている。

また昭和62年より（8月初旬、土曜日）さっぽろ国際フェスティバル「北海道祭、熱響舞夏」を「すすきの祭り」の最終日に合わせて一万人の大群舞「北海盆踊り」として、駅前プロムナードで行っている。平成2年からは3万人の大群舞となっている。

北海盆唄

- ◆ 隊形：輪おどり。
- ◆ 進行方向：反時計まわり。
- ◆ 踊り始め：進行方向を向き、前奏 12 呼間聞いて“チョチョンがチョン”と手拍子を行い、左足その場に踏み踊り始める。図(1)
- ◆ 踊り方
 - ① 一つの
右足を前に出し、両手左右から左手かざし、右手で左袖払い、右足を踏み直して体重を移し、両手左右に開く。図(2)(3)
 - ② 二つ
左足を前に出して、両手を振りかえる。図(4)
 - ③ 三つの
右足を右斜め後ろに引いて円外向きとなり、両手山開きを行う。図(5)
 - ④ 四つ
右足を左足横に踏み開いて進行方向むきとなり、両手左右に水平に伏せ開き、左足を進行方向に踏む。図(6)
 - ⑤ 五つの
右足を左足の横に“トン”と爪立て、左肩前で“チョン”と拍手し、右足を右斜め前に出し、両手左右に開く。図(7)(8)
 - ⑥ 六つ
左足を右足の横に“トン”と爪立て、右肩前で“チョン”と拍手を行い、左足を踏み出して両手左右に開く。図(9)(10)

以上を①からくり返す。

<p>◆輪おどり ◆反時計まわり ◆進行方向をむき、 前奏1・2呼間聞いてから “チョチョンがチョン” と手拍子をして踊り始め る。</p>	<p>(5)</p>  <p>山開き 三つの</p>	<p>(10)</p>  <p>左</p>	
<p>(1)</p>  <p>VVOV チョチョンがチョン</p>	<p>(6)</p>  <p>水平開き 四つ</p>	<p>以上を図(2)からくり返す</p>	
<p>(2)</p>  <p>右</p>	<p>(7)</p>  <p>右 五</p>		
<p>(3)</p>  <p>右 つ</p>	<p>(8)</p>  <p>右 つ</p>		
<p>(4)</p>  <p>二つ 左</p>	<p>(9)</p>  <p>六 左</p>		